

令和5年度茨城県障害福祉分野のロボット等導入支援事業による業務改善機器導入について

この度、令和5年度茨城県障害福祉分野のロボット等導入支援事業補助金の交付をうけて、下記の事業が完了いたしました。ここに事業完了の報告を申し上げますと共に、ご協力賜りました関係者の皆さまに謹んで感謝の意を表します。

～茨城県障害福祉分野のロボット等導入支援事業補助金～

障害福祉分野におけるロボット技術の活用により、介護業務の負担軽減等を図り、働きやすい職場環境の整備や安全・安心な障害福祉サービスの提供を推進するため、障害者支援施設事業者等が介護ロボット等の導入を支援することを目的とする。

○補助金額 973,500円
○事業総額 723,000円
○完了年月日 令和6年3月29日

○導入機器① 移乗介護 J-PAS fleairy (パワーアシストスーツ) 2台

- ・購入金額 749,100円
- ・実施場所 施設名：青嵐荘つくし園 所在地：茨城県古河市尾崎323
- ・使用状況 機械浴にて入浴している利用者のうち、3名（特に移乗動作の際、職員に負担がかかる利用者）を対象とし、J-PAS fleairy を着用した職員が、ベッドと機械浴用ストレッチャーの間の移乗介助を行う。
- ・導入効果 床走行式リフトを使用した移乗が1回3分（1名につき）のところ、フレアリーを使用すると1回1分7秒（1名につき）となり、平均1分53秒の短縮となった。また、装着に慣れが必要であるが、自動で稼働するため、容易に操作が可能であった。時間効率だけでなく、身体的な負担軽減にもつなげることができた。また、ご利用者に機器の本体が触れることはないため、不安感をあたえることもなかった。

・導入写真



○導入機器② 見守り機器 コールマット・コードレス見守りライトセット 2台

- ・購入金額 224,400円
- ・実施場所 施設名：青嵐荘つくし園 所在地：茨城県古河市尾崎323
- ・使用状況 夜間帯ベッドから転落またはベッドからの立ち上がり失敗して転倒する等の事故リスクが高い利用者2名に、コールマット・コードレスを使用。転落、転倒事故のリスクを未然に察知し、効果的な見守り等支援の効率化を進める。
- ・導入効果 ご利用者2名を対象とし設置準備を実施。使用方法について職員への周知を行う。その後、2週間の試行期間を経て夜間帯に導入を開始した。結果として、対象者居室の巡回回数を1人あたり5回減らすことができた。（巡回1回あたりの所要時間は約3分であるため、1日あたり約30分の時間短縮につながった。）また、試行期間中、1名に対し転倒リスク軽減の対応を行うことができた。（回数は、2週間で3回発生）巡回時間が減少したことにより、ご利用者の安眠時間確保にもつなげられたと思われる。

・導入写真

